

シンポジウム開催 (案)

1 シンポジウム開催の目的

淀川水系流域委員会による中間とりまとめがまとまったことを契機に、シンポジウムを開催することによって、広く流域住民に淀川水系流域委員会の活動や中間とりまとめの内容について知ってもらい、私たちの生活を支えている淀川水系について考えていただく機会を提供する。

2 シンポジウム概要

日時 2002 年 6 月 23 日 (日) 午後

場所 京都会館第二ホール

参加人数 (目標) 400 ~ 500 人

プログラム

委員会からの報告、委員とゲストとのパネルディスカッションを行う。

ゲストパネリスト: 遙 洋子

コーディネーター: 近藤 三津枝

併設パネル展示

淀川水系の現状を示す写真、図などを解説付きでパネル展示する。パネル作成にあたっては、委員・河川管理者からの提供資料や過去の会議資料を活用する。

主催 淀川水系流域委員会

タイトル 現在、検討中

3 一般への広報

参加募集

下記のような方法により、流域住民にシンポジウムの開催を周知し、参加を呼びかける。

新聞広告 (主要紙に広告を掲載する)

今までに関わりがあった方へダイレクトメール、電子メール、電話による勧誘

ニュースレター設置先に、開催案内チラシを送付し、設置を依頼

委員の方々に開催案内チラシを配布していただく

関連イベントにて、開催案内チラシの設置・配布を依頼

その他、学校、図書館、公民館、関係団体などにチラシ設置を依頼

報道関係者へのチラシ送付、電話等による呼びかけ

ラジオでの開催案内

淀川水系流域委員会ホームページでの開催案内

結果報告

下記のような方法により、流域住民に淀川水系流域委員会の活動、シンポジウムの結果や中間とりまとめを周知し、関心を喚起する。

新聞広告 (採録記事掲載を検討)

シンポジウム結果を小冊子としてとりまとめ、シンポジウム参加者やニュースレター設置先に送付

4 ゲストプロフィール

遙 洋子

大阪府出身。'86年のタレントデビュー後、数々のテレビ・ラジオ番組に出演。また、新聞にコラムを執筆するなど多方面で活躍している。'97年から3年間、東京大学で社会学を学び、その後著した「東大で上野千鶴子にケンカを学ぶ」がベストセラーに。その他の著書に、「介護と恋愛」「結婚しません。」「働く女は敵ばかり」「野球は阪神 私は独身」などがある。また、日経ビジネスで「働く女の眼」を連載。働く女性の立場から自分らしく生きることへの思いをストレートに語る姿勢が多くの人々に支持され、注目を集めている。現在のレギュラー番組は「2時ドキッ！」など。

近藤 三津枝

ジャーナリスト。兵庫県芦屋市生まれ。甲南女子大学文学部英文科卒業。経営・経済問題をテーマに、国内外のエクセレント・カンパニー、ベンチャー企業等の取材を続けている。中でもアジアへのアプローチはコンスタント。テレビの経済番組のキャスターを努める一方、新聞・雑誌などの対談、記事執筆を行い、幅広い分野で活躍。食通としても知られ、関西の食文化にも造詣が深い。

現在

武庫川女子大学講師

関西経済同友会：都市再生委員会 副委員長

経済産業省：地球温暖化防止対策部会 専門委員

国土交通省：新・近畿長期ビジョン懇談会 委員

国土交通省：瀬戸内海洋交流・連携整備計画調査委員会 委員

国土交通省：西中四国地方における広域連携整備計画調査 委員

財務省：新しい造幣局を考える会 委員

気象庁：気象審議会 委員

気象庁：地球ウォッチャーズ 理事

兵庫県：グリーンエネルギービジョン策定委員会 委員

大阪府：今後の交通政策に関わる懇談会 委員

神戸市：先端医療センター生命倫理審議会 審議委員

他 多数